

第2回

吹田市北千里小学校跡地複合施設建設整備設計等業務委託事業者選定会議 議事録

1 開催日時

平成31年(2019年)3月13日(水) 午後6時30分～午後8時

2 開催場所

吹田市役所高層棟7階 第2会議室

3 出席委員

委員長 地域教育部長

副委員長 児童部長

委員 行政経営部総括参事

委員 市民部市民自治推進室長

委員 都市魅力部次長

委員 都市計画部計画調整室長

委員 地域教育部次長

評価部会長 地域教育部まなびの支援課長

評価副部会長 児童部子育て支援課長

評価副部会長 地域教育部中央図書館長

学識経験者

関西大学環境都市工学部建築学科教授

関西大学文学部教授

4 議事内容

議題1 プレゼンテーション・ヒアリング実施事業者について

(事務局) <プレゼンテーション・ヒアリング実施事業者について報告>

<質疑・意見等なし>

議題2 提案・ヒアリングの審議状況及び評価点について

(評価部会長) <提案・ヒアリングの審議状況及び評価点について報告>

(学識経験者) 価格に最高額と最低額についてあったかと思うが、低すぎるということはないか。

(事務局) 契約上限価格は96,400,000円ですが、最低見積価格の設定は今回していない。

(委員長) 一番の肝は、市民意見を聞き、基本計画を作成すること。どんな手法で考えているかを確認してもらっていると思うが、選んでいるところに、市民意見を聴くことに力を入れてくれる可能性はあるのか。

- (評価部会長) H 社の方は、基本計画でのヒアリングは予定に入れていなかったが、必ず基本計画の段階でワークショップを入れられるかと質問したら、対応したいという回答をもらった。応じてもらえると思う。
- (委員長) 設計までの予算かと思うが、建物が凝った物になると、整備費用がかかる。また維持費もかかるが、プレゼンの中で確認できましたか。
- (事務局) 建設についてのコストは、考慮してくれている。最終的なランニングコストについては、実際のところ、事業者に対して、有効な質問もなかった。我々も、どれぐらいかかるのか見えていない。ソフト面の提案含めてなされていた。
- (委員長) 建設費はどれぐらい想定されておりましたか。
- (事務局) 具体的な金額までは聞けてない。予算的には、市の概算予算としては 18 億円。それを業者が認識しているかまでは、質問できていない。
- (学識経験者) 特定テーマ 1 の学びの拠点について。H の評価が部屋としてかなり区切られている。オープンな所と自習する部分で部屋の中でするとか、古典的なイメージにひきずられている。グループ学習などのイメージが見えない。閉じこもっている印象を受けた。共同的に学ぶということのエリアが、内部の作り方の中でできるかどうか。そういった事も含めて議論を深めてほしい。意見です。
- (学識経験者) G 社は解放的でありながら、2 階部分に広いスペースをとって、学習スペースにする。面白いと思った。意見です。
- (学識経験者) それぞれのテーマに対する理解度というのは違いはない。あとはデザイン力とセンス。業務実施方法と手法の点では H が 1 番だと思う。G は奇をてらいすぎている。融合が強く出すぎている。H のデザインはオーソドックスだが、その上である程度つながりを持っている。トータルで H が良かったと思う。
- (委員) ヒアリング概要が参考になった。H 社の市民意見の聴取、スケジュールの回答に安心した。それが担保にはならないと思うが、選定委員会の中で確認されているという事実確認ができる。
- (委員) 最終的にどういう形にするかというのは、吹田市がちゃんと決めないといけない。提案書の絵や事業者に引きずられてはいけない。具体的に進めていく中、あくまでも、物差しとして考えること。細かいことはこれから皆で考えていかないといけない。変更は絶対できるので、しっかり求めていってほしい。
- (委員) 施設を多く所管しているので、その観点で見てのことだが、どうしても縦割りにになってしまう。融合や、基本的な対象者などの考え方など。施設間の開業時間が相違するなど、一番重要だと思う。公民館は、災害時、緊急に対応しないとイケない。夜遅くまで不特定の人が利用する。ソフト面でどうい

った対応ができるのか。全体の管理面でもどういたことができるのか。H社の夜間でも受付できるカウンターなど、セキュリティの面でもよく考えられていたのではと思う。

(委員) 市民の中で議論をする中で、管理方法で意見が出てくる。今の公民館、図書館をどう使うのか。ある程度一定の方向性を、合わせて考えていかないといけない。指定管理がいいのか、直営がいいのか。そういった点、同時進行でしていくこと。どういう組織でやっていくのか。今後、色々な意見を吸収し対応すること。

(委員長)市民の中で議論をする中で、管理方法で意見が出てくる。今の公民館、図書館をどう使うのか。ある程度一定の方向性を、合わせて考えていかないといけない。指定管理がいいのか、直営がいいのか。そういった点、同時進行でしていくこと。どういう組織でやっていくのか。今後、色々な意見を吸収し対応すること。

(委員) 特定テーマで、各社がどれだけの得意分野があるのかが見えた。どれだけの能力があるのか、アイデアを持っているのかを見て、市の方でどれだけ導いていくのかといった所。点数も、つき方も面白かった。実際にどう使うのか。拡張性、造成の点。公共施設でどう使っていくのか。もう少し大きな規模だと、H社のような広い場所があったら、炊き出しなどもできたらうな、とか思った。納得の結果になったと思う。

以上